

# 保健室だより

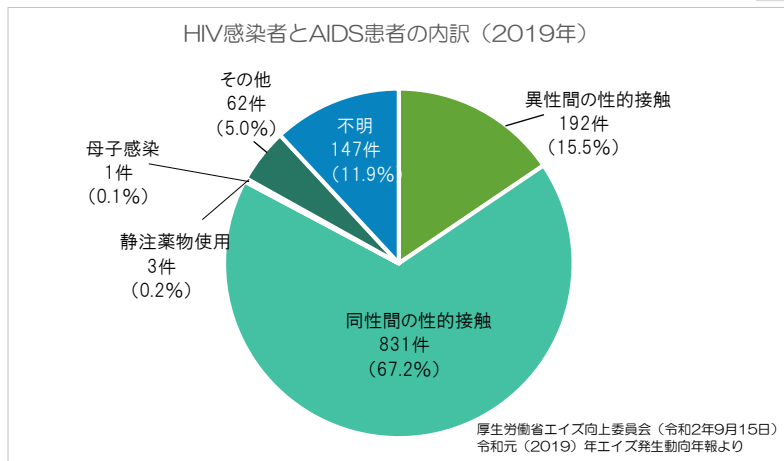
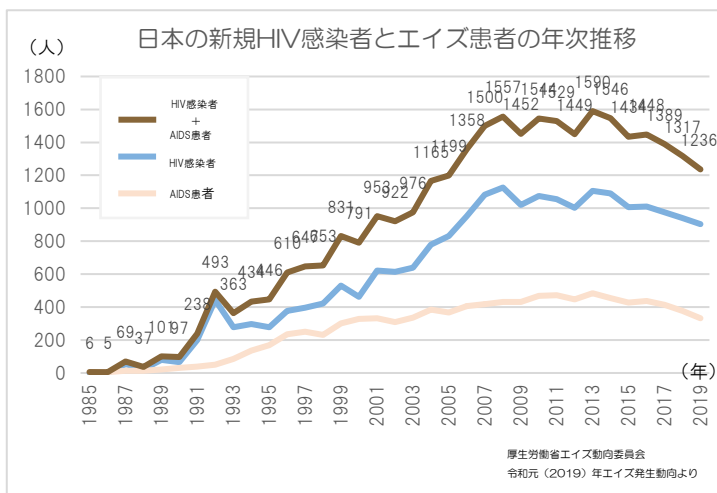
2020年 冬号

COVID19の感染が全国的に増加しており不安も増す中、誰もが今最も関心のある感染症であり、感染しないよう予防対策をとられているかと思います。感染症に対しては、個々が関心を持ち、正しい知識のもときちんと予防対策を講じることが重要だと強く実感しましたね。

12月1日が「世界エイズデー」であったことはご存じでしょうか。「HIV」「エイズ」という言葉はほとんどの人が知っていると思いますが、すべての人がウイルスのこと病気のことを理解できていますでしょうか。

2019年に日本で新たに報告されたHIV感染者は、903人、エイズ患者は333人合計で1,236人です。2019年末の累計報告者数は32,825人です。

感染経路としては、性的接触によるものがほとんどでその多くが同性間の性的接触によるものです。



エイズはむやみに恐れる必要はなく、正しい知識で、正しく対処していれば十分に予防できる病気です。感染がひろがる一因は、正しい知識がないために、無自覚や無関心によって感染を引き起こしてしまうことです。

以前は「エイズ=死」と考えられていましたが、HIVによく効く治療薬が開発されたことで、現在では感染を早期に発見し、きちんと治療をすれば普通の生活を送ることが可能です。

## HIV = エイズ ではない

HIVとは、「エイズウイルス」のことで、正式には「ヒト免疫不全ウイルス」というウイルスのことで、HIV感染とは、この「ヒト免疫不全ウイルスに感染した」ということです。

このウイルスは、ヒトの免疫力を低下させます。免疫が低下してしまうと、普段は感染しない病原体にも感染しやすくなり、さまざまな病気を発症してしまいます。

## エイズとは、「後天性免疫不全症候群」といいます。

HIVに感染してすぐに免疫力がおちてしまうというわけではなく、体内で徐々に(数年かけて)HIVが増殖し、免疫力が徐々に低下し、病原体に感染しやすくなり、さまざまな病気を発症した状態をエイズといいます。代表的な23の疾患が決められており、これらを発症した時点でエイズと診断されます。なので、HIVに感染したからといって、すぐにエイズになるというわけではないのです。

免疫とは、からだの中に侵入した菌やウイルスなどから自分自身を守る力のことです



# HIV感染経路

## 主な感染経路

性行為による感染



血液を介しての感染

母子感染



●HIVは主に血液や精液、膣内分泌液に多く含まれており、性行為中に性器や肛門、口腔などの粘膜や傷口を介して感染します。

●HIVが存在する血液、依存性薬物の“回し打ち”といった注射器の共用・医療現場での針刺し事故など血液を介して感染を起こします。  
※日本では、厳重な検査により安全性が確保されており、輸血や血液製剤での感染リスクはかなり低いです。

●母親がHIVに感染している場合は、妊娠中や出産時、また授乳時に赤ちゃんに感染することがあります。

●HIVは感染力が弱く、日常生活においては性行為以外で感染することはありません。

## こういうところからは感染しません

お風呂やプール



トイレの便座



コップの回し飲み



蚊にさされる



つり革

## HIV感染を防ぐために

### ●性行為について

コンドームを使用しましょう。  
性器具の共用をしないようにしましょう。

### ●血液を介して

血液に触れることや血液が体内に入る可能性のある行為は避けましょう。  
※日本における輸血・血液製剤での感染リスクはかなり低いです。

### ●母子感染に関して

女性がHIV陽性であっても妊娠中の服薬や帝王切開による出産、粉ミルクでの養育等の措置をとれば、赤ちゃんへの感染率は抑えられます。

## コンドームの正しい使い方



※袋から取り出すときなど、爪を立てて傷つくと破れることがあるので、丁寧に扱う。  
※一度使用したコンドームは捨てる(つけるのに失敗したコンドームも使わない)。  
※コンドームは熱に弱いので、高温になるところ(車の中など)に置かない。  
※コンドームは圧力や摩擦にも弱いので、財布や定期入れなどに入れない。  
※潤滑剤を使用するときは水性のものを選ぶ(油性のベビーオイルを使うと破れやすくなる)。  
※防虫剤と一緒に保管しない(薬品が小袋に浸透し、ラテックスと化学反応を起こして破れやすくなる)。  
※使用期限を守る(箱に記載されている)。

## HIV検査について

病院やクリニックでの検査は原則有料で、匿名では受けられません。

保健所や特設検査相談施設では、名前や住所を知らせず、無料で検査を受けることができます。

しかし、現在のコロナ禍において保健所、医療機関は非常に逼迫した状態にあり、HIV検査が中止されている場合があります。自治体等のホームページで事前に実施状況を確認する必要があります。

## 検査を受けるタイミング

HIVに感染しても、すぐには血中にHIV抗体が検出されません。検査で正確な結果を得るためには、感染の可能性があった機会から**3ヵ月以上経ってから**受検する必要があります。

